

## パージェタ・ハーセプチン療法

FN - :催吐性 最小度

診断名 : HER2 陽性の手術不能又は再発乳がん

### ○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴):パージェタ 初回 840mg/body 2 回目以降 420mg/body

Day1(点滴):ハーセプチン 初回 8mg/kg 2 回目以降 6mg/kg

### ○注意事項

1. パージェタを単独投与した場合の有効性及び安全性は確立していない。
2. パージェタの投与調整:前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
3. ハーセプチンの投与調整:前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
4. パージェタ、ハーセプチン投与後の経過観察時間は infusion reaction 症状を確認するための時間であり、2回目以降、問題がなければ省略可能。(infusion reaction は主に初回投与時の投与中又は投与開始後24時間以内に出現することが多い。)
5. ハーセプチン投与前、投与開始後6カ月～1年以内に、心機能を評価する。